

明日、7月20日(土)から、夏休み子どもラジオ体操が始まります。
私も明日は妙泉寺公園にお邪魔します。子どもたちと会えるのを楽
しみにしています。

西南風 小乃



「ハンパない」子ら

先週に引き続き、今週も人権集会にお呼ばれました。
五年生と一年生です。

まず、五年生は水曜日になりました。五年生は『なご
て腹んたつ』（「きずな」小学校高学年 二〇〇七年
改定版）を教材に、勉強してきました。主人公である五
年生の良子さんは、一年生の頃から学校の友達に嫌なこ
とを言われたり仲間外れにされたりして深く傷つき、言
いたいことも言えず笑ってごまかすのでした。そんな良
子さんが担任の先生と一緒に立ち上がろうとしていくお
話です。いじめも差別も同じです。どちらも不快なもの
であり、いかなる理由があっても許せないことだからで
す。そんな主人公に共感しながら五年生は学習を進め、
自分たちを振り返りました。

五年生の発表で特に心に残ったのは、二人の個人発表
でした。一人はみんなを喜ばせたいという自分の本当の
願いを言いました。しかし、思うようにならないというイラ
イラしてしまい嫌な言動をとってしまうことがあるのだ
と。そんな自分をどうにかしたいと言っていました。こ
の子の本当の願いを知った周りの子どもたちは、嫌な言
動だけでこの子のことが嫌いになるでしょうか、関わり
をやめるでしょうか。本当の願いを知り一生懸命話す姿
を見たことで、「どうしたのかな?」「何かあったのか
な?」と、逆にこの子を慮る（おもんばかり）ことにつ
ながるでしょう。そんな優しさを
五年生は持っています。

もう一人は自分の辛い経験を発
表しました。そして自分の辛
いを今のクラスメイトは受け止
めてくれたのだと。この子の思
いを知って、学年の子どもたち
は学ぶでしょう。辛かった経験
を同級生全員に話す意味とはな
んなのでしょうか。一言でいえ
ばこの子の姿に学ぶことだと思
います。五年生全員が、この子
をじっと見つめて聞いていま
した。姿に惹きつけられるの
です。涙をこらえつつ発表する
姿に共感し、応援する気持ち
にもなりました。

全園工室が涙した...

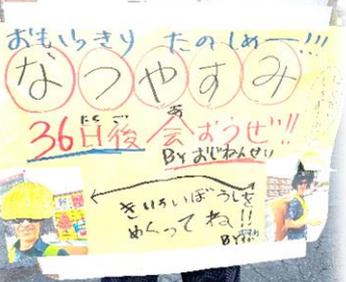


発表する子を見守るクラスメイトの姿にも学んだであ
らう。隣の子がそっと肩に手を添えたり、手は届かなく
ても心配そうに見つめる顔、顔、顔。そんな学級集団の姿
にも学んだでしょう。その時は学年全体が「ハンパない」
やさしい雰囲気です。こちとら涙こらえるのに必死です。

さて、一年生です。オンラインで
行われました。ひまわり学級はそれ
ぞれが自己紹介をしました。その時
に教室で見えていましたが、緊張気味
で皆神妙な顔つきでした。何度も練
習したのでしよう。一人一人がカメ
ラの前で一生懸命に発表しました。
自分の発表が終わると、ホッとした
表情になっていい顔をしていました。
その後は、各学級からの人権スロ
ーガンの発表でした。スローガンの中
には「やさしさ」「ふわふわ言葉」などの前向きな言葉
がたくさんあって、みんなで仲良くしていきたいという
気持ちがあふれていました。「校長先生のお話」の中
で言いましたが、この四月で一番あいさつが上達したの
は間違いなく一年生です。朝も帰りも黄色い帽子をかぶ
た一年生は、みんな元気よくあいさつをしてきていま
す。しかもピッカピカの笑顔です。なんと癒し
でしょうか。笑顔の破壊力が「ハンパない」のです。

一年生のすばらしいあいさつや笑顔は、他の学年にも
伝染しているように感じています。とはいえ、各学年が
それぞれで努力した成果でもあります。SPC（西南パ
ワークラブ）は、夏休み前最後の日の今朝も当然のよう
にほうきや熊手を手に集まってきました。その後ゴミ拾
いをしていたら、三年生の少
年が手伝ってくれました。彼
はタカが地表の小動物を見つ
けるような鋭さで私が見えな
いゴミを見つけ続け、ゴミ袋
はいつもの倍以上になりました。
子ども「ハンパない」
やさしさや頑張りが家庭や地
域でもますます生きる夏休み
であってほしいです。

おじねんせいさん、
毎朝ありがとうございます。



ですが、次会えるのは39日後です。

